

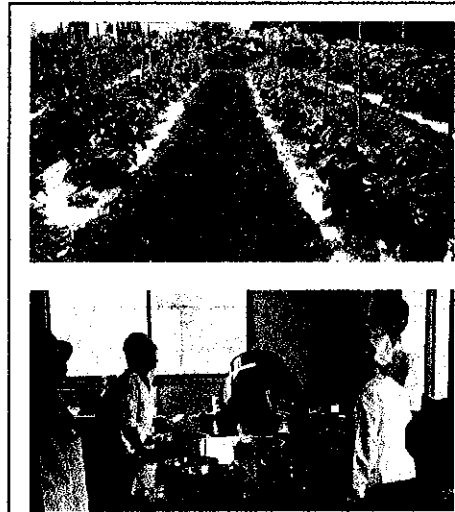
平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	食用ほおずきによる地域特産品事業
事業主体 (連絡先)	白馬サンサン会 北安曇郡白馬村北城 7193-1 電話 72-2273
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,329,584 円 (うち支援金: 679,000 円)

事業内容

食用ほおずきを地域の特産品として位置付けるために以下の事業をおこなう。

- ・生産量の拡大と栽培技術の普及をめざし、地域内での生産者の増、作業への協力者の増。
- ・栄養成分を明らかにして、生産物や加工品の販売に活用していく。
- ・商品紹介のパンフレットの製作やホームページの立ち上げをして情報を増やし、商品への理解を深める。
- ・ロゴマークをつくり、商品のイメージの統一を図る。
- ・生食できる期間は限られているため、商品の充実を目的として、加工品の研究、開発を進める。



【上：畑の様子 下：ジャム加工の様子】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・生産協力者の増加 (1 団体、1 農業者の増)
- ・作業協力者の増加 (団体外で 5 名の増)
- ・食用ほおずきの栄養成分分析実施により、パンフレットへの引用ができた。
- ・統一ロゴマークの作成により、加工品のラベルなどへの活用ができた。
- ・パンフレットの製作 (A4 三つ折り 3000 部)
- ・ホームページの立ち上げ (<http://www.hakuba33.com/>) により情報発信が図れた。
- ・ジャム等加工品の質の向上、新たなドライ製品の開発
- ・圃場見学者の受け入れ (平成 26 年度 2 団体、1 個人)

【目標・ねらい】

- ①生産量の増加と安定的な確保。
- ②食用ほおずきの栄養成分を明らかにする
- ③PR に努め、地域の方に知ってもらう。
- ④加工品などの充実をはかる。

※自己評価 【 B 】

【理由】 生産量の確保により、地場産品として出荷が安定し、加工品の充実、パンフレットやホームページなどの活用で、地域の内外に知名度が上がってきていると感じている。銀座 NAGANO しあわせ信州シェアスペースなどでも好評をいただき、一定の効果を得た。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

ある程度の知名度は上がってきたものの、特産品としては、まだ珍しいものの部類に入り、地域内での認知度や利用・活用については、拡大の余地がたぶんに残されていると思う。今後も生産量の増加と安定的な確保、PR に努め、さらに地域での特産品としての利用を進めてもらえるよう努力していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

- 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
- 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある